

各 位

会 社 名 日本システム技術株式会社
代 表 者 の 代表取締役社長
役 職 氏 名 執 行 役 員 平林 武昭
(コード番号 4323 東証第二部)
問 い 合 わ せ 先 取締役執行役員
財 務 部 長 大 門 紀 章
(T E L 06-4560-1000)

医療ビックデータ事業「JMICS」における 点検事業会社向けクラウドサービス開始のお知らせ

当社は、平成 25 年 10 月より、コンピュータシステムを駆使して自社開発した診療報酬明細書(以下「レセプト」という。)の自動点検・分析システム(以下「JMICS」という。)を核としたサービスを、複数の点検事業会社にクラウドシステムとして開放し、これら点検事業会社と協業して、広範な保険者に向けて充実したワンストップサービスを提供することを決定いたしました。

JMICSは、当社が開発した国内で類を見ない高度な内容点検ならびに分析機能を有するシステムで、商用開始からわずか2年6ヶ月で、総契約数はのべ 50 保険者以上にのぼっております。医療費請求審査事業におけるレセプト点検サービスは月間取扱い量が 250 万レセプトを上回る規模となり、加えて、基礎分析サービスは 1 顧客で年間 1 億件を上回るデータ件数を集計分析する等、正に医療ビッグデータの時代にマッチしたサービスを提供しております。

JMICSをクラウドシステムとして保険者に利用提供してきた実績に続き、この度、新たに複数の点検事業会社に利用開放し、協業してシステムの更なる高度化を図り、早期に取扱い量を倍増することにより、まずは“本格的なレセプト自動点検処理機能”を業界のトップブランドとし、加えて、多岐にわたる分析機能等により高品質なワンストップサービスを広く保険者に提供することを目指します。

なお、当社が提供するサービスは、社会保障制度改革国民会議の議論や厚生労働省のデータヘルス計画で示される「保険者が医療ビッグデータを有効活用する各種の施策」を具現化したものであり、日本の皆保険制度の健全な運営を求めて保険者が新たに取り組む各種施策を広範囲に支援するものとして、多方面から大いに期待されております。

■ JMICSのワンストップサービスの特徴

①ITのスペシャリストと医療専門家の融合体制

医療情報の分析能力を有するソフトウェア技術者集団とそれを支える医療専門家集団の協力体制

②制度等環境変化に即応

診療報酬制度改正・適用解釈変更、新薬認可、保険適用追加事項などの変化に即応し、常に最新、最適のサービス提供が可能

③万全なセキュリティ・BCP対策

医療ビッグデータをBCPとセキュリティ対策が万全なデータセンターの大規模データベース上に長期保管

④多様な顧客ニーズに柔軟に対応

全サービスとも多様な顧客ニーズにベストマッチする柔軟性を保持

⑤点検・分析の総合機能包含

JMICSは高度なICTを駆使した多角的な分析機能を包含

⑥大規模処理実績

一県の国保・後期高齢者の年間1億件のデータを分析など、超多量データの安定的処理運用実績

■ 医療ビッグデータの総合的な活用を前提としたJMICSサービスのご紹介

保険者機能の強化によって実現すべき課題は、①加入者の健康回復・維持・増進と、②医療費支出の適正化の両輪の推進と考えております。そこで当社は、既に各種の分析を各事業のPDCAサイクルに組み込み、Plan段階での緻密な分析と、実行後のCheck段階での仔細な結果分析の実施により、更なる成果の拡大を図ることを目指しております。

以下に、成果を上げる具体的な事業分野の代表的なサービスラインアップをご紹介します。

①医療費請求内容審査サービス

a) レセプトの請求内容をコンピュータで綿密に全件高速点検し、不適切な請求項目の再審査請求による請求額削減を目的とするサービス。

・レセプト点検受託サービス: 当社内でレセプト点検を受託するもの。

・レセプト点検クラウドサービス: 保険者や点検事業会社が遠隔地からクラウドシステムを利用し、レセプト点検を行うもの。

b) 医療費通知サービス: 紙やWEB媒体により、レセプトの請求明細内容を被保険者に通知し、請求額の適正性のチェックを求めるもの。

c) 柔道整復施術療養費点検サービス

d) 海外療養費処理サービス

②基礎分析サービス

現状把握や適切な事業企画立案の予備調査、経年変化傾向調査及び他の保険者との比較分析などを行うサービス。

③適正受診指導サービス

医療機関の適正な受診行動を促し、冗長な医療費支出の節約と薬害による健康被害を防止するサービス。

④後発(ジェネリック)医薬品使用促進サービス

地域、調剤薬局、薬効分類別の緻密な分析や、紙やWEB媒体による個別通知を行う事により、後発医薬品への切り替えによる薬剤費の節約を促進するサービス。

⑤疾病予防対策サービス

予防対策が有効な各種疾病の発症実態把握分析によりタイムリーな施策を立案・実行し、罹患率低下を図るサービス。

⑥生活習慣病予防重症化防止サービス

健診データとレセプトデータを突合することにより、生活習慣病に関する予備軍、罹患者の内容分析によるリスクレベルに応じた健康回復指導、受診勧奨、重症化防止指導などを立案実行するサービス。

⑦その他のサービス

a) メンタルヘルスケアサービス

発症状況分析を前提に、発症予防の1次予防、早期発見早期対応の2次予防から、相談カウンセリング、職場復帰までトータルでサポートするサービス。

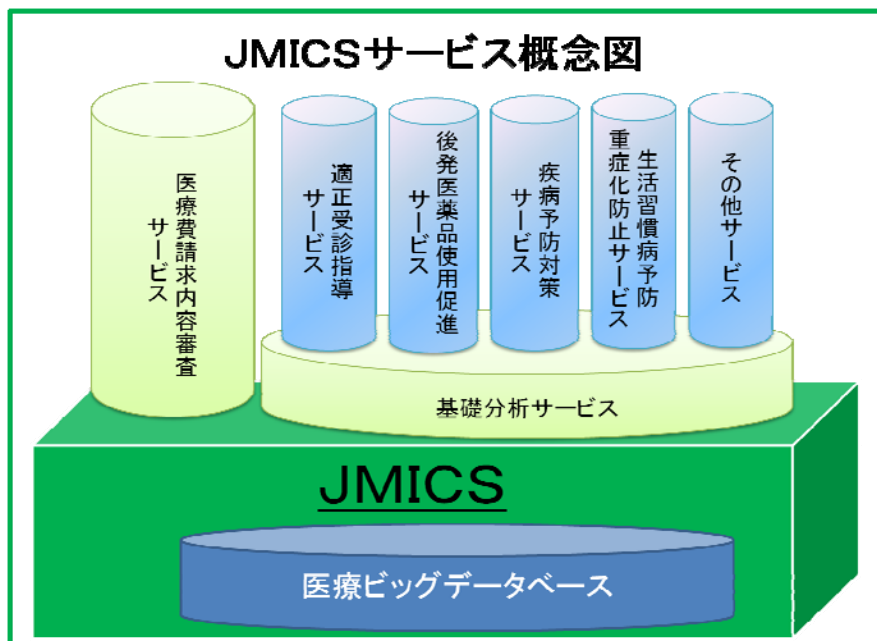
b) データ検索サービス

保険者の内部で、様々な保健指導を実践する際に必要なレセプトの受診内容と健診情報を時系列に参照するシステム利用サービス。

c) 加入者向け情報提供WEBサービス

医療費通知、ジェネリック医薬品使用促進通知、お薬履歴、重複頻回・過剰服用の注意喚起、などの最新情報がインターネットを通じてPCやスマートフォンからいつでも閲覧することができるサービス。将来的には、健診データをはじめとする健康情報を追加し、個人が自らの健康に関する情報を自己管理の下に集約・累積し、健康増進へと活用するPHRへの進化も視野に入れております。

■JMICSサービス概念図



■医療ビッグデータ事業の実績（平成25年9月30日現在）

- ①健康保険組合 40 組合、共済組合5組合、国民健康保険4自治体、後期高齢者医療広域連合1支部、生活保護4自治体、など 計 54 保険者
- ②レセプト点検受託サービスにおける大規模保険者
公立学校共済組合本部 月間 140 万枚(共済組合日本最大規模)
大阪市生活保護 月間 30 万枚(生活保護自治体日本最大規模) ほか
- ③処理件数
レセプト点検サービスでの月間処理件数 約250万件/月
医療費分析サービスでの1回当たりの最大処理データ件数 約1億件

■ JMICSワンストップサービスの名称

商 標 名 : JMICS (ジェイミクス/JAST Medical Insurance Checking System) サービス
日本語名称 : JAST医療保険点検分析システム・サービス
JAST: 日本システム技術株式会社の略称

■ 本サービスに関するお問い合わせ先

日本システム技術株式会社 医療情報サービス事業部
TEL 03-6718-2785(東京) 営業課 : 青木
06-4560-1050(大阪) 営業課 : 中村
URL <http://jmics.jp/> (JMICSサービス専用サイト)
<http://www.jast.jp/> (日本システム技術株式会社の総合サイト)

以 上